

市内のインフルエンザが注意報レベル

◆アピールポイント

市内のインフルエンザ患者数が急激に増加し、注意報レベルになりました。今後、さらなる感染拡大が想定されますので、感染対策として、手洗い・手指消毒、換気、咳エチケットなどを心掛けてください。

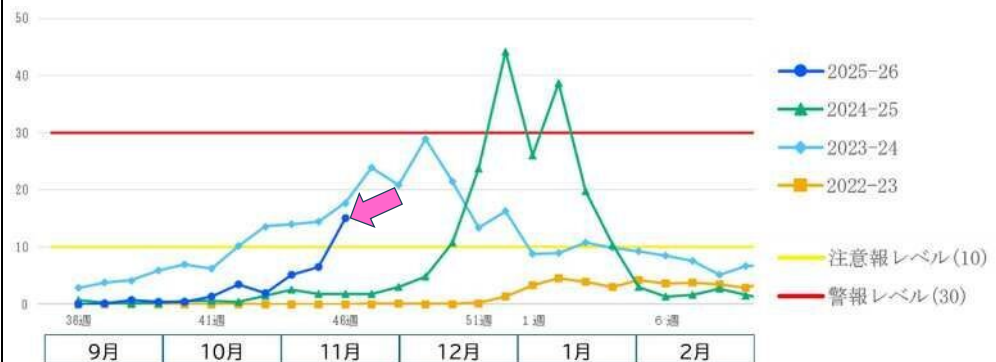
＜静岡市内のインフルエンザ感染状況＞

●市内のインフルエンザの定点医療機関あたりの状況 (令和7年11月19日時点)

	43 週 (10/20~10/26)	44 週 (10/27~11/2)	45 週 (11/3~11/9)	46 週 (11/10~11/16)
定点値： 1 定点あたりの 患者報告数 (市内 25 の定点医 療機関による調査)	1. 96 人	5. 12 人	6. 52 人	15. 08 人

◆内容など

●定点医療機関からの患者報告数の推移



●インフルエンザ注意報レベルとは

インフルエンザにおける1週間あたりの患者報告数が、1 定点あたり 10 人以上です。今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があります。(参考：警報レベルは 30 人以上)

●インフルエンザによる学級閉鎖状況（第46週（11/10～11/16））

		保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	合計 (今週)	合計 (前週)	合計 (今シーズン)
葵区	施設数	0	0	3	0	1	0	0	0	4	1	8
	患者数	0	0	53	0	13	0	0	0	66	14	112
駿河区	施設数	0	0	2	1	0	0	0	0	3	2	5
	患者数	0	0	49	11	0	0	0	0	60	24	84
清水区	施設数	0	0	6	0	1	0	1	0	8	0	9
	患者数	0	0	136	0	15	0	9	0	160	0	172
合計 (今週)	施設数	0	0	11	1	2	0	1	0	15	3	22
	患者数	0	0	238	11	28	0	9	0	286	38	368
合計 (今シーズン)	施設数	0	0	17	2	2	0	1	0			
	患者数	0	0	312	19	28	0	9	0			

保：保育園／幼：幼稚園／小：小学校／中：中学校／
高：高等学校／特支：特別支援学校／こ：こども園／高専：高等専門学校

●過去の状況

シーズン	流行期入り (定点値≧1)	注意報開始 (定点値≧10)	警報開始 (定点値≧30)	警報終了 (定点値<10)	ピーク時期(定点値)
2025 (R7)	第41週 10/6～10/12	第46週 11/10～11/16	—	—	—
2024 (R6)	第43週 10/21～10/27	第50週 12/9～12/15	第52週 12/23～12/29	R7.第5週 R7.1/27～2/2	第52週(44.08) 12/23～12/29
2023 (R5)	第36週 9/4～9/10	第42週 10/16～10/22	なし	—	第49週(28.92) 12/4～12/10
2022 (R4)	第52週 12/26～R5.1/1	なし	なし	—	R5.第2週(4.48) R5.1/9～1/15
2021 (R3)	新型コロナウイルス感染症の影響により、集計の対象外。				
2020 (R2)	新型コロナウイルス感染症の影響により、集計の対象外。				
2019 (R1)	第43週 10/21～10/27	第52週 12/23～12/29	なし	—	R2.第4週(23.16) R2.1/20～1/26
2018 (H30)	第47週 11/19～11/25	H31.第1週 12/31～H31.1/6	H31.第2週 H31.1/7～1/13	H31.第7週 H31.2/11～2/17	H31.第3週(60.44) H31.1/14～1/20

※各シーズンは、概ね9月から翌年8月まで

別紙資料 ☒ 有 ・ 無

【問合せ】保健所感染症対策課

（葵区城東町 城東保健福祉エリア保健所棟2階）

担当 八木、神邊

電話 054-249-3172

(別紙)

<インフルエンザの特徴>

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛などの症状が現れます。普通の風邪と比べ全身症状が強く、気管支炎や肺炎、脳症などの合併症を引き起こし、重症化することがありますので、高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

<感染予防・対策>

- 感染症予防は、日頃から個人での感染対策が重要です。
- 人が多く集まる場所に行く際は、特に感染に注意しましょう。
- 体調不良(発熱・咳・のどの痛み等)時に外出すると、更に症状が悪化するとともに、他人に感染させてしまう可能性がありますので注意しましょう。
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず休養するとともに、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- インフルエンザワクチンは発症低減効果や発症後重症化防止に有効と報告されていますので、接種をご検討ください。

●感染対策のポイント

- 1) こまめな手洗い・手指消毒をしましょう。
- 2) 換気を心掛けましょう。
- 3) 適度な湿度を保持しましょう。
- 4) 人混みでは、咳エチケットを励行しましょう。
- 5) 感染予防を心がけ栄養や休養をしっかりと、体調を整えるようにしましょう。
- 6) 健康に配慮が必要な方やその身近にいる方は特に感染対策を心掛けてください。
- 7) インフルエンザワクチン接種をご検討ください。

<命を守る救急医療のひっ迫回避のために>

- 調子がおかしいと感じたら、できる限り平日昼間の診療時間内に、かかりつけ医を受診して下さい。

※休日・夜間の当番医や急病センター・当番病院の診療は、急病患者のための救急医療です。救急医療は、当番の診療所や病院等の限られた医療スタッフで行っている、重症の方を優先とした応急処置です。

<市内の感染症発生状況>

市ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの発生状況が分かるよう、定期的に動画によりホームページで発信しています。ぜひご覧ください。

●感染症発生動向調査

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2371/s003411.html>

●今週の感染症予報（動画）

https://www.tabeshizu.net/infection_countermeasures_division/